

AIC News

あおもりインテリアコーディネーター倶楽部
Aomori Interior Coordinator Club 会報

<http://www.aomori-ic.com/>

もくじ

- 1・・・ 広報部会よりごあいさつ
- 2・・・ 平成21年度通常総会、開催
- 2・・・ 塚田晴可「暮らしの中の美へのまなざし」講演会
- 3・・・ 照明セミナー、開催
- 4・・・ 表具についての勉強会
- 5・・・ 住まいアップフェア、出展報告
- 6・・・ 会員のこだわり・おススメ
- 6・・・ 告知 イベントのお知らせ
- 8・・・ 編集後記
- 8・・・ 賛助会員さまのご紹介

2009.9

16

広報部会よりごあいさつ。

お待たせいたしました。AIC あおもりインテリアコーディネーター倶楽部、広報誌第16号をお届けいたします。

昨年以來、未報告のままとなっていました各開催、参加イベントを中心に、今年上半期までの活動をご報告します。季刊の予定が、だんだん不定期刊の様相を呈してきましたが、今年もまた10月にはファブリックをテーマにした展示会を予定していますし、皆さまにお知らせ&ご報告したいことは次から次へと出てまいります。今後もしっかりと広報に努めますので、よろしく願いいたします。



平成21年度通常総会、開催

報告

第12回 あおもりインテリアコーディネーター倶楽部の総会を、5月16日(土)青森ワシントンホテル「シャンゼリゼ」にて開催しました。出席者は12名、20年度の活動報告・収支決算報告と21年度の計画と予算及び役員について、滞りなく承認されました。

会員数が思ったように増えていない(むしろ減っている)状況の中、川口さん(八戸ブロック)が正会員として入会されました。建築士である川口さんは、これまで大きな現場に数多く携わってこられています。また、「煉瓦」の事についてはかなりの知識をお持ちで、賛助会員である(株)INAXさんと、タイル、そして煉瓦について、興味深い話が交わされていました。また今年度は、AICの活動に賛同して参加してくださっている賛助会員の皆さんのPRの場をもっと設けて、お互いにレベルアップできるような活動をして行こうという事になりました。

AICの資格を取得して、まだAICの倶楽部に入会されていない皆様、そして、私達AICの活動に賛同してくださる賛助会員の企業の皆様を(随時)募集しております。どうぞよろしくお願いいたします。

この秋に青森と八戸で開催予定のイベント、「ファブリックによるインテリアの多様性」についての話し合いも活発にされました。

今年度のAICは、ひとりでも多くの会員の皆様が活動に参加できて、イベントでは、インテリアに興味のあるより多くの方々に参加していただけるようにしたいと(静かに・・・)意気込んでおります。

(事務局 松橋 道子)



塚田晴可「暮らしの中の美へのまなざし」講演会

主催：青森文化倶楽部 (青森市文化芸術活動振興基金助成金事業)

後援：あおもりインテリアコーディネーター倶楽部

昨年8月10日、青森県立美術館コミュニティーギャラリーBを会場に開催された、塚田晴可「暮らしの中の美へのまなざし」講演会の報告をさせていただきます。

この講演会は、私(石戸谷)が代表を務めた青森文化倶楽部が主催し、青森市文化芸術活動振興助成金事業の支援のもと、あおもりインテリアコーディネーター倶楽部に後援をいただき開催、無事に終えることが出来ました。(講演会の様子・写真1)

この講演の目的は、日常の暮らしの中で、どのように美術品を鑑賞し取り入れていったらいいのか、ということをおぼることでした。

会場では、実際の美術品を展示、更にプロジェクターによる、作品のコーディネートを見て頂きながらの講演会。

司会進行役の私は、講演の目的と講師の話す内容にハラハラドキドキしながらも、来場者が真剣に考えて質問を投げかけてくれたのが印象的でした。



写真1

照明セミナー、開催

2009年4月15日、青森市の青森福祉県民プラザにて、大光電気(株)大阪TACTチーフデザイナーの高木英俊(たかぎひでとし)さんを講師にお招きした照明セミナーを、青森県建築士会女性委員会さま、大光電気青森営業所さまと共催いたしました。

年間100回以上のセミナーをこなすカリスマ照明デザイナーと聞き、私はとてもワクワクしました。しかし、セミナー中に泣く人や怒って席を立つ人もいるらしい・・・とも聞き、

いったいなんのこっちゃ?なぜ、照明セミナーで泣くのか?そんな少しの不安を感じながらも当日を迎えました。

ところがいざセミナーが始まると、なるほどその理由は一瞬で理解できました。なんと開始からわずか2分足らずで、鋭い眼光に変貌しターゲットを睨みつけ、関西弁で怒鳴り散らしながら「美しい照明計画」について説明をし始めたかと思うと、関西弁特有のツッコミのしゃべりが炸裂! とても面白くて、笑いが止まらない場面もあり、3時間のセミナーはあっという間に終わってしまいました(笑い過ぎで

少し横っばらが痛かった・・・)。

セミナーでは、天井を一枚のキャンバスにたとえ、そのキャンバスの中で照明器具をいかにシンプルに、そして適切な場所に配置しデザインするか、という事

を教えていただきました。キーワードは「点」・「線」・「面」。これらを組み合わせる事により明かり(照明)を集中または、分散させたり整理する事ができる。それが出来てはじめて美しい天井になるのです。

明るさを求め過ぎて、天井のあちらこちらに白熱色や昼白色の照明器具が入り混じっていたり、無数のダウンライトの穴がいたるところに空いているのをみた事はありませんか? こういったことを無くすには、「提案する側が現場に足を何度も運び、現場を見る事だっ!」と高木さんは力説しておられました。

口から出てくる一言一言、住宅照明の概念が一瞬で変わるような内容ばかりで、終始聞き漏らしの無いよう熱心に耳を傾けている自分がいました・・・。

またいつか、関西弁で怒鳴られたいな～。そしてバカみたいに笑いたいな～。 (弘前ブロック 若井香澄)



東京銀座で美術ギャラリー無境を主宰されている塚田晴可氏は、特に北大路魯山人に関して多くの作品を扱って来られました。「無境」という魯山人の号をギャラリー名にしています。

また、骨董から現代美術までジャンルを超えて幅広く美術作品を扱って、「暮らしのなかに 新・古美術」という著書も出版されています。



写真2



写真3

講演会前日の8月9日には、私の住まいと小間ギャラリーを使い、塚田氏が持参した美術品で空間をコーディネートし、暮らしの中でどのように美へのまなざしを養うかを、実践をまじえてトークセッション式で講演をしていただきました。(写真2、3)

私を含め、AICからは高樋さん、高嶋さんも参加して、物を観る眼についてそれぞれの意見を投げかけた熱いセッションとなりました。

この日の最後には、塚田氏持参の魯山人の茶碗で、全員抹茶を一服・・・。

講演にあたりAICの皆様、ご協力、ご後援、本当にありがとうございました。

(青森ブロック 石戸谷英子)

表具についての勉強会

講師：芳文堂 佐々木宏さん

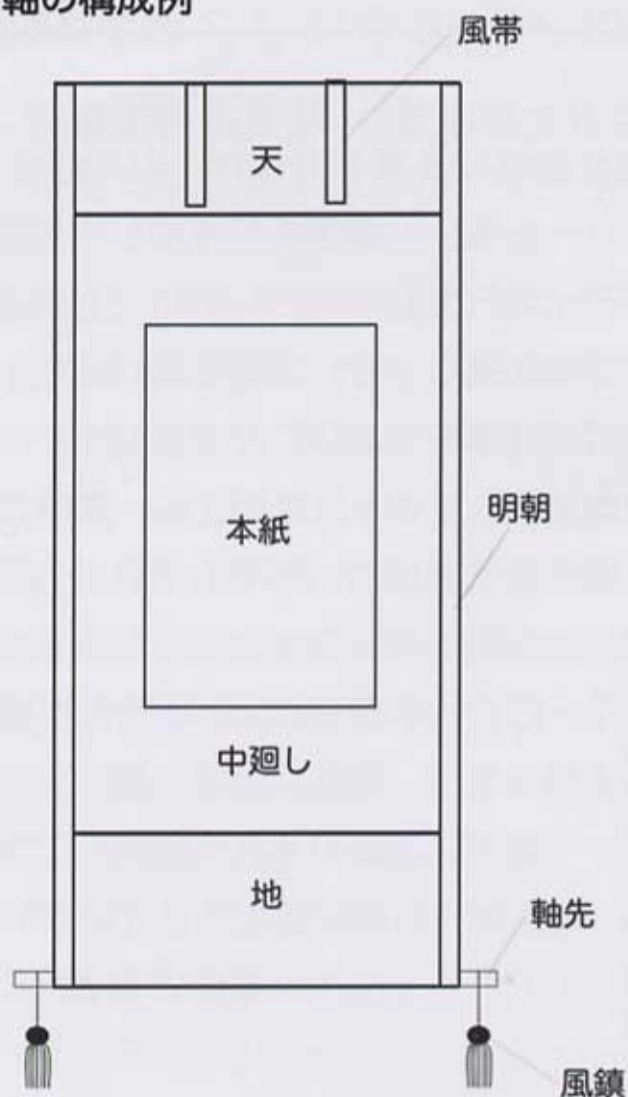
2008年11月1日、青森市南佃にある芳文堂、佐々木さんのご自宅にお招きいただき、表具を中心としたお話をお聞きすることができました。

表具とは、折本（巻物を同じ幅に折り畳み、その前後に表紙をつけて製本した本）や掛け軸、衝立、額装等のことをいいます。表具屋さんは書、画などを表装して、掛け軸などをつくるのですが、それぞれの様式についても教えていただきました。

表装は、技術もさることながら、その書、画などの雰囲気にあった地の紙や布、その他の表具を構成するアイテムを選ぶセンスも大事になってくるということで、例えば掛け軸の場合、下の図のとおり掛け軸を構成するそれぞれのアイテムを、画を掛け軸にする場合にはその画の内容や雰囲気にあった素材から選び、画に使われている何か一色をこのどこかに取り入れたり、反対色や補色を使ったりしてコーディネートをするわけです。この日、佐々木さんの床の間にはアイヌの人たちが集まってお酒を飲んでいる画の掛け軸をかけられていました。その掛け軸は、アイヌの人たちが着ている洋服の色やその画がもつ雰囲気にとてもマッチしていました。



掛け軸の構成例



今まではすでに出来上がった物ばかりを見てきましたが、その制作工程はクリエイティブな作業なのだなぁと改めて思いました。

どこかに行くたびに、何かに使えそうな布や紙、風鎮になりそうな焼き物や石などを集めているそうで、佐々木さんの仕事への意欲、楽しさが滲み出ていました。まだ表具となる前の未使用の紙や布のそれぞれにストーリーがあり、この紙や布がどんな表具になるのかなぁと想像するだけでワクワクしてとても刺激的な一日でした。

そのうえ、青森が生んだ名棟梁大室勝四郎が手がけたというご自宅の客間は、梁や柱の見せ方が美しく、その骨組を走る建具の骨や和紙の障子もまた美しく感動しました。

部屋のあちこちにご主人の佐々木さんが大好きだというこだわりの民芸品が飾られていて、そちらもみんな興味津津。いいものを見せていただきました。ありがとうございました。

(青森ブロック 高嶋 真弓)

すまいアップフェア、出展報告

インテリアコーディネート体験コーナーを開設！

2008年11月8・9日、青森市の産業会館にて開催された建築・リフォーム関連の展示・相談会『すまいアップフェア』に、AICからも青森ブロックが参加しました。

来場された、主にお子様たちに「わたしの部屋をつくろう！」と題して、ミニチュアルームの作成を通してインテリアのコーディネートを体験、50組以上のお客様に楽しんでいただきました。

ミニチュアのサイズは1/12としたので、A4用紙サイズがほぼ6畳間にあたります。インテリアのアイテムは、あらかじめクロスを貼った壁2面と、フローリング調やカーペットの床、庭の景色付サッシ窓、カーテン、テーブル、椅子、グリーン、クリスマス飾り、人形等々、倶楽部会員が作成したものや持っていたパーツを用意しました。

そしてミニチュアルーム完成後に写真をパチリ！その場で印刷し、写真をお客様にお持ち帰りいただきました。ミニチュアは、面白いことに写真にするとまるで本物、とてもリアルに見えるのです。

今回は、女の子はかわいくて明るい色調、男の子

はシャープで渋めのコーディネートが多かったようでした。中には大人顔負けのナイスなチョイスをする子もいて感心しきり、はたまた同伴のお母様のほうがお子様より夢中になられる場面もあり。

この企画、4月からイベントで使っておりますが、大人も子供も短時間で好きな部屋がこしらえられるということで大好評につき、これからはばらばらなことあるごとに登場しそうです。

(青森ブロック 成田 留美子)

『すまいアップフェア』について

青森県住宅リフォーム推進協議会の主催で行なわれた、住宅総合イベントです。

安全、安心、エコロジー、などをキーワードに、住宅に関わるあらゆることやものを紹介し、職人さんによる屋根葺きやリフォームの実演、県産木材による工作体験や相談コーナーなどのプログラムを通じ、家族連れを中心に多数の来場者を集めた2日間でした。



どれを使おっかな？



決め手くんも興味津々？



コーディネート作品の例

読む！ 読むこと・観ること・想うこと。

(八戸ブロック 松橋 道子)

グレート・ギャツビー

スコット・フィッツジェラルド 著
村上春樹 訳

アメリカ文学を代表する作品のひとつである、と評価されている「グレート・ギャツビー」は、1925年フィッツジェラルド28歳の時に刊行されている。

私がこの名作を読もうと思ったのは、この本の翻訳者である村上春樹が、「これまでの人生で巡り合った最も重要な本」という位置付けをしていた事と、この本に出会わなければ今と違う小説を書いていた(あるいは何も書いていなかった)かもしれないと言っていたからに他ならない。

主人公であるジェイ・ギャツビーは、ニューヨーク郊外のロングアイランドに壮麗な邸宅を持ち、連日のように大勢の有名人を集め、盛大なパーティに明け暮れていた。手が後ろに回るような仕事もし巨万の富を得た彼には、たったひとつの望みがあった。それは、出征により離れてしまった女性デイジー…彼女は彼の青春そのものだった…を取り戻す事。そのためだけに人生のすべてを捧げた。その背景は華やかで美しく、でもどこか淋しげで、やがてドロドロとした人間模様とサスペンスが入り混じり物語は進んで行く……。

この哀しくも美しいひと夏の物語を読み終えた後は、人生ってなんてはかないんだと感じずにはいられない、そんな本だった。そういえばこの物語は映画化されているという事を思い出した。邦題は「華麗なるギャツビー」、主演はロバート・レッド・フォードとミヤ・ファロー。

DVDを探しさっそく観てみたが、観初めてすぐに…違和感を感じた。確かに映像化すればこうなるのだろうけれど、私が本を読んだとき感じた風とか色や空気感、人物もインテリアもすべて、ほんのちよつとずれていて、それがどうにもこうにも心地が悪く、ついに最後まで観切る事ができなかった。本を読みながら思い描く事や感じる事は、人それぞれ違っているから、私は私の中にある想いを映像によって崩されたくなかった。想いを形にするのって相当難しい。読んだ本が映画化(映像化)された時、それを観るべきか、観ないでおくべきか、そうとう悩む。悩みませんか？

そういえば、来年2010年秋、村上春樹の「ノルウェイの森」(これは、言い過ぎですが、100回位読み返している。言い過ぎですが、)の映画が公開される。ワタナベ君の役は、青森(むつ市)出身の松山ケンイチ。んん、悪くない。悪くは無いは思うが、きっとまたそうとう悩んで、観に行かない……予感がする。



告知 イベントのお知らせ

『ファブリックの可能性』展を開催予定

インテリアの中のファブリックの多様な魅力を感じていただくイベントを開催します。

ファブリックパネルを簡単につくるワークショップも同時開催！(材料費有料)

◎八戸展 10月17日(土)、18日(日)の2日間 会場：アトリエ OKA 八戸市根城4丁目6-7

◎青森展 10月24日(土)、25日(日)の2日間 会場：ギャラリー成幸 青森市安方2-12-2

詳しくは事務局(TEL 080-3335-2008)へお問合せください。別途、案内状をお届けします。

食べる！ 簡単マイ・レシピ。(八戸ブロック 馬場 妙子)

混ぜるだけの簡単レアチーズケーキ

美味しいお店の食べ歩き、これはもう最高に楽しいのですが、自分好みの味を作って楽しむのもまた、乙なもの!? 簡単レシピで笑っちゃうくらい美味しい、レアチーズケーキ、紹介しちゃいます!



【材料】

クリームチーズ 250g、プレーンヨーグルト 500g、砂糖 80g、ゼラチン 10g、お湯 180cc

1. 冷蔵庫から出しておいたクリームチーズを滑らかになるまで混ぜる。砂糖を3回に分けて加え、さらに混ぜる。
2. ヨーグルトを加えて混ぜる。
お湯で溶かしておいたゼラチンを加えて、よく混ぜる。
3. 好みの型に流し込み、冷蔵庫で冷やし固める。

☆お好みでブルーベリージャムをのせて。

無脂肪ヨーグルトを使うとヘルシーです。

☆分量は21cm ホール分あります。私はビスケットが苦手なのでいつも敷かずいただきますが、敷きたい場合には・・・

袋の中で砕いたビスケット100gに、溶かし無塩バター60gを混ぜ、クッキングシートを敷いた型に敷き詰めてその上に【2.】を流し込み、冷やし固めます。

会員のこだわり、おススメ。

ICであると同時に『生活のプロ』でもある当倶楽部会員の、生活全般への様々なこだわり…。

そのなかからイチ押し、食べる、聴く、読む、観る、など、毎号少しだけ、ご紹介していきます。

「玄関だけはいつもきれいに片付けましょう。」

…小さな頃から祖母や母によく言われた言葉。子供だった私は「面倒くさいな。」と思ったものです。

年頃の子供たちを抱えた現在、汚れた部活道具や大きな靴の数、気がつくとならば煩雑となる我が家。「玄関だけはいつもきれいに片付けましょう。」が私の口癖になりました。玄関先を整然としておく事で家族やお客様を気持ちよく迎え、落ち着いた気持ちで次のアクションにとりかかることが出来ると理解したからでしょうか。

また、玄関は狭いスペースなので気軽に四季折々のインテリアを楽しむ事ができます。最近水で膨らませるとカラフルなゼリー状になるオアシスを購

凝らす!

暮らしの中の、ちょっとした工夫。

(八戸ブロック 立田 美律)



入し、グラスに花を活けたりキャンドルを置いて楽しんでいきます。口の広い器に入れても花のバランスがとりやすく、なにより美味しそう…なんて、暮らしを楽しむきっかけの場としています。

編集後記

さて、今回も最後までご覧いただけましたでしょうか？

執筆陣の原稿はどんどんその分量を増し、本誌の編集も、ワタクシ本業の合間をぬっての片手間仕事では追いつかなくなってきました（笑）。そんな訳で予定は遅れに遅れ、なんとかようやく、規定のスペースにまとめました（汗）。

イベントへの出展報告、勉強会の報告など、当倶楽部の活動内容を知っていただき、また今後開催するものについては皆さまにもご参加いただきたく、今後も広報部会、編集委員一体となって取組んでまいります。

ご意見ご感想などもお寄せいただき、今後もお愛読？いただければ幸いです。

（編集担当：弘前ブロック 小野 大輔）

賛助会員さまのご紹介

●(株) I N A X 青森営業所	〒030-0861 青森市長島 2-25-3 (ニッセイ青森センタービル)	☎ 017-774-7140
●上野(株) 青森営業所	〒030-0813 青森市松原 3-9-2 (いしごおかビル 1F)	☎ 017-773-3561
●カラーワークス青い森(ササキ塗料(株)内)	〒039-1121 八戸市卸センター 1-8-8	☎ 0178-20-1038
●(株) キラク電気	〒030-0843 青森市浜田字玉川 143-19	☎ 017-735-2345
●(株) サンゲツ 青森営業所	〒030-0945 青森市桜川 8-21-9	☎ 017-744-2113
●大光電機(株) 青森営業所	〒030-0843 青森市浜田字豊田 32-2	☎ 017-723-5300
●立川ブラインド工業(株) 青森営業所	〒030-0821 青森市勝田 2-4-16	☎ 017-734-5771
●東リ(株) 盛岡営業所	〒020-0021 盛岡市中央通 1-12-14	☎ 019-653-3296
●トーソー(株) 盛岡営業所	〒020-0134 盛岡市南青山町 4-8	☎ 019-645-5271
●リリカラ(株) 盛岡営業所	〒020-0866 盛岡市本宮 2-11-7 浅沼2号館 102号	☎ 019-636-2155
●トキワ産業(株) 仙台営業所	〒983-0013 仙台市宮城野区中野字腰廻 61-1	☎ 022-254-1741

(順不同)

事務局・連絡先

Homepage <http://www.aomori-ic.com/>

AIC 事務局

八戸市柏崎 4-16-4
ガラージュ M 松橋
TEL 0178-73-6737
FAX 0178-73-6738

広報部会連絡・投稿先

青森市安田近野 130-7
スタジオ ナイーブ 石戸谷
TEL 017-781-1067
FAX 同上

AIC あおもりインテリアコーディネーター倶楽部広報部会では、会員の皆様による会報の各コーナーへの投稿もお待ちしております。こんなコーナーがあれば、といったご意見も、広報部会へお寄せください。

また、どこかで当会報をお手にされた会員以外の一般の皆様からも、取り上げてほしいとお考えのインテリアに関するテーマ、ご感想など、お待ちしております。またインターネットホームページも、どうぞご覧ください。